

災害に強い県土を築く防災・減災対策



平成30年2月7日
とりまとめ担当課
建設企画課
内線 2845

全国各地で想定を超える規模の豪雨により甚大な被害が発生していることを踏まえ、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指し、関係市町村と連携しながらソフト・ハード両面から水害対策や土砂災害対策を推進するとともに、災害時の「社会経済活動の継続」や「孤立地区解消」等に向け道路防災を推進し、安全・安心な県土づくりを進めます。

【予算額】 11,814,614千円

水害対策

5,875,590千円

災害時の避難のサポート

- ・ 県民の迅速かつ適切な避難行動を促す取組
[減災対策協議会]
- ・ 要配慮者利用施設の避難支援
- ・ 洪水監視体制の強化
[河川監視カメラ・危機管理型水位計の設置]
- ・ 新たな知見による減災対策の検討
[水害リスクや広域避難のあり方など]

水害から人命・資産を守る施設整備

- ・ 河川改修 [利根川(伊勢崎市) 井野川(高崎市) ほか]
- ・ 堤防強化 [烏川(高崎市) 谷田川(板倉町) ほか]
- ・ 堆積土除去・伐木 [荒砥川(前橋市) ほか]

河川監視カメラの設置



河川改修



堤防強化



土砂災害対策

4,598,904千円

災害時の避難のサポート

- ・ 防災マップの作成支援
[防災マップ作成および実働避難訓練]
- ・ 要配慮者利用施設の避難支援

土砂災害から要配慮者利用施設等を守る施設整備

- ・ 土石流対策
[下町南沢(下仁田町) 大沢川(東吾妻町) ほか]
- ・ がけ崩れ対策
[経ヶ峯地区(桐生市) 千原地区(南牧村) ほか]
- ・ 地すべり対策
[駒留地区(藤岡市)]
- ・ 堆積土除去・伐木
[赤城白川(前橋市) ほか]

防災マップ(自主避難計画)



実働避難訓練



道路防災

1,340,120千円

災害に強い道路ネットワークの構築

- ・ 落石対策 [国道353号(渋川市) 国道120号(片品村) ほか]
- ・ 橋梁耐震補強 [県道伊勢崎本庄線 広瀬大橋(伊勢崎市) ほか]
- ・ 道路拡幅(孤立防止) [県道下仁田白田線(南牧村) ほか]
- ・ 道路冠水対策 [県道太田境東線(太田市) ほか]



国道120号 落石対策(片品村)